

家庭連合の韓鶴子総裁がノーベル賞の候補にあがったとネットの一部に話題になっています。この「ノーベル賞の候補」って、どうやって決めるのでしょうか。私だって候補になれるのでしょうか。教えてください。

結論から言うと、ネットでよく言われる「ノーベル賞の候補」はかなり曖昧で、本人が自稱している場合や、推薦された“だけ”の段階を指していることが多いです。仕組みを知ると、この話の見え方がだいぶ変わります。

■ ノーベル賞の「候補」はどう決まるのか

ノーベル賞は、私たちが思うような「候補リスト」が公表される仕組みではありません。

実際の流れはこうです：

① 推薦できる人が限られている

誰でも推薦できるわけではありません。例えば平和賞なら：

- 各国の国会議員・閣僚
- 大学教授(特定分野)
- 過去のノーベル賞受賞者
- ノーベル委員会が認めた人

など、かなり限定された人だけが推薦できます。

② 毎年「大量に推薦される」

ここが重要です。

- 平和賞だけでも
↳ 毎年 200～300 人以上が推薦されます

つまり、

☞ 「推薦された＝候補」なら、かなり多くの人該当する
ということです。

③ 候補リストは非公開

- 誰が推薦されたかは 50 年間非公開
- 公式に「今年の候補者」は発表されない

つまり、

☞ 外から本当の候補者は分からないのです

■ 「候補になった」と言われる理由

ネットでよくあるパターンは主に 3 つです：

パターン①: 実際に誰かが推薦した

→ これはあり得ます
(推薦自体はそこまで難しくない)

ただし

☞ それだけで受賞に近いわけではない

パターン②: 団体や支持者がアピール

→ 「ノーベル賞候補」と宣伝に使うケース

パターン③: 誤解・誇張

→ 「推薦された」＝「有力候補」と勘違い

■ あなたも候補になれるのか？

結論：

☞ 理論上は可能です

ただし条件があります：

- 上記の「推薦資格を持つ人」があなたを推薦する必要あり
- 自分で立候補はできない

そして重要なのは：

☞ 推薦される人は毎年数百人いるので、特別珍しいことではない

■ 例えるところこんな感じ

ノーベル賞の「候補」は、

- 入試の「志願者」
- 映画賞の「エントリー作品」

に近いです。

☞ 本当の勝負はそこから先

■ まとめ(重要ポイント)

- ノーベル賞に公式な「候補者リスト」は存在しない
- 推薦された人は毎年数百人いる
- 誰かが推薦すれば「候補」と言えてしまう

- 受賞とはほぼ別次元の話
-

■ 補足(今回の話題について)

韓鶴子氏の件も、

- ☞ 「推薦された可能性」自体は否定できない
- ☞ しかし「有力候補」かどうかは外からは判断不能

というのが冷静な見方になります。

もしよろしければ、
「過去に“候補と騒がれたが受賞しなかった例」や
「逆に本当に有力候補と見られるケース」
も具体例付きで解説できます。